

■第4回アジア太平洋水サミットが開催されました

(文責) 熊本大学 田中尚人

1 はじめに

2016年4月に起きた熊本地震から6年が経った2022年4月23日(土)、24日(日)熊本城ホールにて第4回アジア太平洋水サミット(4APWS)が、天皇陛下、皇后陛下もオンラインにてご臨席賜り開催された。当初、4APWSは、2020年の秋に熊本市にて開催される予定であったものが、世界的な新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により、約1年半遅れての開催となった。

この4APWSにおいて、認定NPO法人日本水フォーラム(Japan Water Forum)と連携しながら、熊本の水文化を世界に発信する高校生を中心とした活動団体ユース水フォーラムくまもと(Youth Water Forum Kumamoto: YWFK)のメンバーが、開会式に参加し開会宣言を行ったほか分科会にも参加し、サイドイベントとして開催された展示ブースでも、熊本の高校生たちが熊本の水文化を世界に発信した。

2 開会式・分科会

サミットの開会式にて、YWFKのメンバーである熊本県立熊本北高等学校の梅崎悠太くん、片山紗良さんが開会宣言を行った。開会式に続いて行われた天皇陛下、皇后陛下とのオンライン懇談会にも、同じくユース水フォーラム九州として活動した長崎北高校、宮古総合実業高校の生徒さん達とともに、2名が参加した。

4APWSでは、シンポジウムや分科会・統合セッションが行われたが、こちらにも梅崎悠太くん、片山紗良さんの2名が分科会6「Innovation by Youth /ユース」に参加した。



図1 開会宣言の風景

3 展示ブース(サイドイベント)

サイドイベントとして開催された展示ブースでは、高校生たちが提案したコンセプト「Feel & Talk with Water -五感で感じる水・熊本の水自慢-」、「未来のWater Collection in Kumamoto」をテーマに、熊本県立北高等学校、同熊本商業高等学校、尚綱高等学校の3つの高校の生徒と先生方と熊本大学の大学生・大学院生たちが運営した。

展示ブースでは、昨年度YWFKの取組み「熊本の水文化ゼミ(講師:田中尚人,馬頭亮太)」に参加して、高校生たちが、熊本の水文化を世界に発信するために作成した3分程度の動画を放映した。



図2 オランダ大使館の方々が来場

「Feel & Talk with Water -五感で感じる水・熊本の水自慢-」のパネルは、YWFKの活動を行ってきた熊本県下の高校生たちが、自分たちの思いや調査した水文化を掲示した。「未来の Water Collection in Kumamoto」では、来場して下さった方々にも、未来の熊本の水文化をともにつくっていかう、という趣旨で期待やコメントなどを記載して頂いた。



図3 熊大生と熊商の生徒たち



図4 先輩と話す尚絅高校の生徒たち



図5 熊本北高校の生徒たち

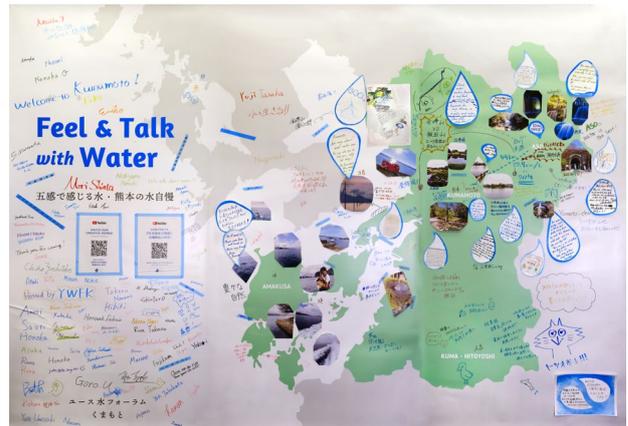


図6 Feel & Talk with Water
-五感で感じる水・熊本の水自慢-



図7 未来の Water Collection in Kumamoto

第4回アジア太平洋水サミットには、岸田内閣総理大臣も出席され、各国の要人らが covid-19 の影響下でありながら、熊本地震や令和2年7月豪雨災害からの復興に取り組む、熊本の地に実際に訪れ、熊本の人々とともに、「Sustainable」をテーマに世界的な水問題について世代を超えて語り合ったことに大きな意義がある。

(2022年8月入稿)